

朝の礼拝

聖書 イザヤ書 40 章 30, 31 (旧約聖書 1109 頁)

若者も疲れ、弱り、若い男もつまずき倒れる。

しかし、主を待ち望む者は新たな力を得

鷺のように翼を広げて舞い上がる。

走っても弱ることがなく

歩いても疲れることはない。

翼をください

“今～ 私の～ 願～いごとが かなうな～らば 翼がほし～い♪”、皆さんはこの曲をご存じでしょうか。長く音楽の教科書にありましたのでご存じの方もいるでしょう。『翼をください』という曲です。実はこの曲、アナログのレコードでは B 面（今のデジタルで言う「カップリング曲」）でしたが、半世紀以上も歌い継がれる曲となりました。

この曲が初めて歌われたのは 1970 年代初めです。皆さんは想像がつかないかもしれませんが、戦後の高度経済成長が終わり、ベトナム戦争などに反対する学生運動が静まった頃です。当時の若者たちは「三無主義」と言って無気力、無関心、無責任と言われました。のちに無感動も加わり「四無主義」とも言われて揶揄されました。

預言者イザヤ書の言葉は、古代イスラエル人の歴史で最大の危機バビロン捕囚の頃に伝えた慰めと励ましの言葉です。その中に「鷺のように翼を広げて舞い上がる」とありました。実はこの「翼」は原語では「神のことば」を象徴しています。これまで聞いたことのない新しい力を受けて、鷺のように翼を広げて舞い上がるという意味です。

冒頭に「若者も疲れ、弱り、若い男もつまずき倒れる」とあったように、捕囚は約半世紀に及び、解放され祖国へ戻りますが荒廃した故郷は絶望にしか映りませんでした。そして多くの若者は祖国を捨てたのでした。

実は『翼をください』の最初のタイトルは「希望」でした。若者はいつの時代も先が見えません。彼らには翼が、慰めと励ましが必要なのです。

(しばらく黙祷しましょう)

慈しみ深い主よ、主のあわれみとみ恵みに感謝します。新しい月を迎えて英和祭も間近となり、また高校3年生は卒業、そして進学という新しい空へ向かって羽ばたき始めています。どうか厳しい気候や自然の災い、愚かな争いなど先の見えない混迷した時代でも、彼らがあなたの慰めと励ましを力に、翼を広げ飛んでいけますように導いてください。特に英和女学院が地域の皆さま、同窓会の皆さま、家族、教会の皆さまに支えられ、愛されて歩んでいることに、改めて英和祭で感謝を献げ、お迎えできますように導いてください。また心身に困難をかかえる方々があなたの慰めによって一日一日を迎え、御心ならばひと時でも早く回復を迎え、ご家族と共に喜びと感謝を献げることができますように導いてください。今日一日もすべてをあなたに委ね、喜びと感謝のうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン